

# 当面の技術対策（畜産編）

令和5年7月1日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1 一番草収穫後の草地管理

### (1) ギシギシ類の駆除

ギシギシ類を駆除する場合は、ギシギシの葉が「手のひらくらいの大きさ」に展開してから薬剤を散布しましょう。散布時期は1番草収穫後2～4週間が目安となります。

除草剤名	処理方法	使用時期	10a 当り 製品使用量	注意事項
ハーモニー 75DF 水和剤	雑草 茎葉 散布	ギシギシ 類の草丈 20cm 以下	新播 0.5～1.0g 経年 3g (水 100ℓ)	1. クローバーに対する葉害が著しい。 2. 散布後 21 日間は採草および放牧を行わない。 3. 高温時の散布はイネ科牧草の生育停滞が著しい。

※ 使用後のタンク等は必ず専用の洗浄剤を使用して洗浄してください。

### (2) ふん尿貯留施設周辺の除草

ふん尿貯留施設周辺に発生した雑草の種はふん尿散布によりほ場に侵入し、発芽する場合があります。雑草が種を付ける前に除草を行いましょう。

## 2 暑熱ストレスへの対策

突然の暑さが牛にストレスを与えます。主な対策は以下の通りです。

- ① 飼槽が空にならないように十分な量の飼料を給与する事が重要です。ルーメン(牛の左腹)がしっかりと張っているか確認してください。
- ② サイレージを注意深く観察し、カビや不良発酵、腐敗した部分を取り除きます。
- ③ 固形塩やミネラル、ビタミンを増給または無くならないようにします。また、重曹は自由採食も重要です。
- ④ 水の濁り、ぬめりが発生しないように、水槽やウォーターカップの清掃の徹底が必要です。
- ⑤ 牛舎側壁のカーテンや妻面の開口部を可能な限り開ける必要があります。また、夜間も送風機をまわして牛の体感温度を下げる事が重要です。